



50th Anniversary

稲沢ロータリークラブ週報

承認日：昭和38年(1963年)12月6日 会長：岡田義夫/副会長：三輪卓生
 例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 幹事：永井伸治/編集：広報会報委員会
 例会場：尾張大國霊神社(国府宮) E-mail: rcinazawa@gmail.com
 稲沢市国府宮一丁目1番1号 URL: <http://www.inazawa-rc.org/>
 事務所：〒492-8213 稲沢市高御堂1-2-1(林商事ビル1階)
 電話：0587-24-0740 FAX：0587-22-7213 事務局携帯電話 090-4853-5262



2013-2014 R I 会長
ロンD・バートン



稲沢 RC2013~2014 年度会長方針
社会を光り輝かせる人となろう!

本日の例会プログラム 第2450回例会 11月27日(水)
例会場：尾張大國霊神社 クラブアッセンブリー(地区大会報告)

第2449回例会報告 11月20日(水) 晴 No.20

| | |
|--------|-------------|
| ☆点 鐘☆ | 会長 岡田義夫 |
| ☆司 会☆ | 会場委員長 三根健一 |
| ☆唱 和☆ | それでこそロータリー |
| ☆ビジター☆ | 足立誠君(一宮 RC) |
| ☆会長挨拶☆ | 岡田義夫 |



本日の卓話は昨年度青少年交換留学生、吉田依玖美さん。本年度愛知啓成高校インターアクトクラブ、白木郁也君。そして次年度青少年交換留学候補生 北川桃佳さんに帰国報告並びに、抱負をお話しして頂きます。会場内には、愛知真和学園理事長の足立誠様、担当委員長は啓成高校校長と言う全学園挙げての機会となりました。会員の皆さんにはこの機会に青少年の活動をより深く知る機会として頂きたいと思ひます。皆さんの卓話に期待を込め、会長挨拶とさせていただきます。

~Today's Information~ ◆◆報告事項◆◆

◆◆幹事報告◆◆ 報告者：幹事 永井伸治

- ◆岡田義夫会長から米山功労者の申し出があり手続き致しました。ありがとうございました。
- ◆クリスマス家族会の登録料の引き落としは12月10日です。上半期の決算月になりますので残高をご確認願います
- ◆AED 贈呈式の様子が地区のHPに掲載されました
<http://www.rotary2760.org/inf/> の『活動内容』
- ◆2013年12月のロータリーレートは、1ドル=100円です

★出席報告★ 報告者：会員組織委員長 小島洋一

| | | | |
|------|------------|---------|-----------|
| 会員総数 | 56名 | 前々回修正 | 11月 6日 |
| 出席 | 35名 | 出席 | 33名 |
| 会員数 | (内免除者 8名) | 会員数 | (内免除者 9名) |
| 欠席者数 | 21名 | メークアップ数 | 9名 |
| | (内免除者 10名) | | |
| 出席率 | 76.09% | 修正出席率 | 89.36% |

◆2013-14年度地区プロジェクト引渡式をベトナムで実施します。ガバナーが列席されますので会員の皆様もぜひご参加くださいとのことです。(詳細は事務局まで)

◆◆ニコボックス報告◆◆ 報告者：ニコボックス委員長 山田典永

- 三輪 永井** 愛知啓成高校の皆さんをお迎えした喜び
卓話スピーカーに愛知啓成高校 吉田さん、白木君、北川さんをお迎えした喜び
- 酒井** 愛知啓成高校の皆さんをお迎えした喜び。吉田さんお久しぶりです。北川さん初めまして
- 足立 大野** 本校の生徒をお招きいただき有難うございます
川合さんに大変お世話になりました。ありがとうございました。
- 後藤 大野、伊東** 二週連続で欠席したお詫び
例会欠席のお詫び
- 伊藤(彰)、浅井、山田(典)** 業務多忙

◆◆卓話：愛知啓成高校 昨年度青少年交換留学生 吉田依玖美さん◆◆



私は、稲沢 RC さんの支援により、サバウ州の Alto da Lapa という地区に派遣させていただきました。この地区で私は言葉や親の大切さなど、たくさんの事を知り、気づくことができました。

私の住んでいたサバウ州は、人口が1100万人以上あり、ブラジル最大かつ南半球最大の都市です。季節は日本の逆で、12月から2月ごろは、最高気温が40°になることもありますまた、リバルタンジという東洋人街があり、日本の

☆例会臨時変更通知☆

| クラブ名 | 月/日(曜日)時間 | メークアップ会場 |
|------|-----------|-----------|
| 一宮北 | 12/27(金) | 休会(定款6-1) |
| 名古屋東 | 12/30(月) | 休会(定款6-1) |
| あま | 12/30(月) | 休会(定款6-1) |
| 尾西 | 12/30(月) | 休会(定款6-1) |

今週のメークアップ 後藤啓行、林茂夫(一宮中央)、樋田克史(尾張中央)、矢野慎史(名古屋東)、浅井耕治(名古屋北)、山内健嗣、鶴飼正巳、西村郁夫、服部孝徳(D2760)

☆例会日程☆

| 12月4日(水)12:30 | 12月7日(土)18:00 | 12月11日(水) | 12月18日(水) |
|-----------------------|--|-----------------------|-----------------------------------|
| 幸福例会 会員表彰 【第6回理事会】 | クリスマス家族会 (ウェスティナコキヤッスル) 受付17:00点鐘18:00 | 例会日変更 (12/7(土)へ振替) | 年次総会 クラブ・アッセンブリー 次年度理事会構成員選出総会 |

食べ物などがたくさんありました。

私は2つの家に約半年間ずつホームステイをしました。初めてお世話になったファミリーは Szalma 家です。とても優しく、朝、昼、晩御飯の時は私のためによそってくれました。カリが高く量もすごく多かったので、残すのは申し訳ないと思い完食していると、日が経つにつれて顔が丸くなっていることに気が付きました。2つめの Imperatrice 家は、私をいろんなところに連れて行ってくれましたしポルトガル語をたくさん教えてくれました。この2つのファミリーとは今でもインターネット上で交流を深めています。ホストシスターだったアナ(Ana)はとても優しく、私をいつも支えていてくれました。

そんな imperatrice 家の人たちとホストチェンジした翌日にリオデジャネイロに旅行しました。私にとって、急な旅行だったのですが、サント・ヒル教会に行ったり、ホテルで人生初の、夏の年越しを体験することができました。

留学生のみんなと、3月にイグアスの滝、5月にアマゾンの旅行に行きました。時間があれば、他の留学生に折り紙を作ったり教えたりしました。折り紙を通してたくさんの友達を作ることができました。

世界最大の滝と言われるイグアスの滝は、思っていたよりはるかに大きく滝に近づくにつれて湿度が増え、スウェットに着いたときには雨がっぱを着ました。水の落ちる音も大きく、音が大きいという驚きより水に対する恐怖を覚えました。アマゾンではマケロン、アナコンダ、子狐、ピレーアに出会うことができました。

サパカ RC での活動としては、貧しい子が通っている学校に食料を届けたり、健康診断の手伝いをしたりしました。月に一度ずつ行っていた例会では時々話をしたりしました。例会は毎月イグアスで行い、話し合いなどが終わった後みんなでピザを食べました。何度かお話をする場をいただいたのですが、私の下手なポルトガル語でも「上手だね!」と言ってもらえて、本当に嬉しかったです。

学校では休憩中に友達にポルトガル語の文法を教えるもらったりしました。授業は英語以外すべてポルトガル語で、初めのうちは本当に何を言っているのか分からなかったのですが、帰ってくる少し前には少し理解ができるようになりました。みんなとても親切な人たちだったので毎日楽しく学校に通っていました。

休日はショッピングに出かけたり、クラブでバーベキューをしたりしました。仮面をつけてダンスをしました。輪になったり、ダンスの上手な人に教えて貰いながらみんなと踊っていたので、たくさんの人とコミュニケーションをとることができました。そして私は、人生で初めて夏に自分の誕生日を迎えるという体験をしました。テーブル一面に一口サイズのお菓子を置きます。ホストファミリーや親戚の方、友人が祝ってくれて、本当に思い出に残るイベントでした。

日本とブラジルで違うところはたくさんあります。家にプールがあること、ピザをナイフ・フォークで食べるということ、野菜の大きさが違うことなどです。私のホームステイしていた家にはありませんでしたが、ご親戚の家にプールがあって、休日はそこでみんなと遊んだりしました。日本では手でつかんで食べるピザも、ブラジルではフォークとナイフを使います。パプリカの大きさはなんと約 15 センチありました。人の顔くらいの大きさです。

私はブラジルに留学させていただいて本当に感謝しています。ブラジルに行ったからできたという経験がたくさんあるからです。その経験は楽しかったことだけでなく辛かったこともありましたが、そんな経験があったから今の自分がいると思います。私は内気であがり症だったのですが今こうして皆さんの前で立って話すことができているとい

うことは、私にとって一番目に見える成長であり、それを本当に嬉しく思います。ポルトガル語も人と会話ができるくらい身につけ、毎日ブラジルの人たちや留学生の友達とインターネット上で話をしています。こうして帰ってきた今でも話ができるのはホストファミリーの方々やホスト RC のおかげだと思います。そして、家族や学校の先生方、青少年交換委員会の皆様、ロータリーの皆様、私を支えていただき本当にありがとうございました。これからはこの経験を生かし、社会貢献に役立てようと思います。

◆◆卓話：愛知啓成高校 第 26 回 IAC 海外派遣研修会 参加者 白木郁也君◆◆



研修日は、平成 25 年 7 月 23 日～31 日。場所はオーストラリアのパース参加人数は 28 名でした。7 月 23 日中部国際空港から丸一日かけて、オーストラリアに向かいました。24 日は午前中市内観光でキングスパークやモガ湖に行き、午後からホストファミリーとの対面です。

25 日セークレッド小学校を訪問しジャンパーという行事に参加して日本の文化を紹介しました。小学生と外で鬼ごっこをしたり、だるまさんがころんだをしました。

26 日パース市内班別行動。パースの街を自由に歩き回ってショッピングや食べ歩きなどをしました。cat バスという無料バスがあるためそれに乗ってぐるぐる回ったりしました。

27 日現地のインターアクターとパース動物園に行きました。日本の動物園と違って動物との距離がものすごく近くびっくりしました。現地のインターアクターとも会話を楽しむことができたので良かったです。

28 日ホストファミリーのサッカー応援、海、動物園でコアラを抱かせてもらったり、BBQ をしながら夜景を楽しみました。この日はとても良い 1 日でした。

29 日ジョンフォルスト高校での交流は 1 日平常授業を体験させてもらいました。現地の学生とペアになって参加しました。ペアの子や周りの学生が親切に教えてくれたのでなんとか授業を終えました。

30 日ホストファミリーとの別れ。本当にこの 1 週間は現地の人たちにお世話になり、なによりホストファミリーには迷惑をかけてばかりでした。自分はなかなか英語を話すことができなくて困っている時は翻訳アプリを使って助けてくれたりして本当に感謝しています。そしてパースからシカポール経由で 31 日に日本に無事到着です。

この研修を終えて最初は本当に自分が海外研修に参加できるとは思いませんでしたし、とても不安で仕方ありませんでした。1 回目の事前研修の際は自分はここにいていいのだろうか?と思うほどで場違いだと感じ、応募したことは失敗だったのではないかと不安でした。けれど、2 回目の事前研修のおかげで他のメンバーと仲良くなることができ、無事出発することができました。オーストラリアは市内観光やホームステイを通して日本との違いを改めて実感しました。オーストラリアのパースで見た景色はどこを見ても綺麗でした。他国の人々と話すこと自分の意見を伝えることは難しかったです。これからはこの研修で学んだことを IAC や学校生活で活かしたいと思いますので、稲沢 RC の方々にぜひ足を運んでいただきたいと思います。



◆◆次年度青少年交換留学候補生 北川桃佳さん◆◆

希望派遣先はフランスです。みなさん今後ともよろしくお願ひ致します。